



かいのき児童クラブ便り



子どもたちの豊かな学びのため



H27年度 夏 第3号

H27. 9. 5

楽しかった手作り昼食！！（びっくりさせられました。）

この夏休みは、昼食作りを子ども達の活動と位置づけ自分たちでつくことにしました。そこで保護者の方のボランティアも遠慮しました。（お片づけなどに来てくださった保護者の方ありがとうございました。）はじめに自分たちでどのメニューがいいか選び、好きなメニューの日に作ることにしました。低学年でやりたい人もいましたが高学年の役割として中心は、5・6年生に任せることにしました。（基本指導員も聞かれればアドバイスは、しますが任せる形で補助につきました。）

カレー・豚丼・焼きそば・トン汁・シチューでした。男子も喜んで料理をしてくれました。作り手の少ない日には、率先して4年男子が手伝ってくれていました。自分たちで進んでしてくれるせいか、材料を切り終わるときれいに片づけ、床まで拭いていました。以前は、後の片づけを指導員でするつもりで活動もしていましたが、今ではその必要もありません。ごみを入れる箱・切ったものを入れるボールやざるなど準備がバッチリでき始め、それを見たり、気がついた子が声をかけたりしてくれるからでしょうね。

焼きそば

焼きそばは、外で大きな鉄板でするつもりでしたが、当日外は、雨

いつもなら班でホットプレートを使い焼きそばということにするのですが、この日は、少し考えました。低学年も楽しめ自分たちで作ったお昼ご飯にするために横割り班。いつもの班は、縦割り班です。上級生が下級生の分も作ってくれます。早い話が学年分けです。学校では、誰がどんな性格かよく知った中の集団です。かいのきは、同学年の方がわかりにくいかもしれません。摩擦も生じるかもしれません。あえて同学年で焼きそばを作ることにしました。思っていた以上に子ども達もしたいようにのびのび作っていたように思いました。意外な子がリーダーシップを取る子、フォロワーに回る子いろんな顔を見ることができました。同じ発達年齢集団だからこそ見えてきたこともありました。低学年はソースをペロペロ。口の周りは、何人もひげ爺さんになっていました。5・6年になると面白がって一拳に入れてしまい山盛りで混ざらなくなっているものを無理やり混ぜ回りは、ソバだらけに。感心できた様子では、ありませんでしたが、協力しあい（女子のお陰？）もありびっくりするほどきれいに片付けていました。麺をほぐすのに水を入れすぎて焼きラーメンと汁をお玉でかけている学年もありました。それぞれ片づけまできっちり自分たちの力で遣り通したところが素晴らしかったです。子どもの力にびっくり！！でした。今後もいろいろな場面で同じ発達年齢の集団での活動も大切にしていきたいと思いました。何より大盛り上がりでした。

（高学年になるとかいのきの役割や責任を考えた上で同学年集団で活動しますが・・・）



自分たちで決めて自分たちのやりたいことを

この夏休みは、春からやりたかった木工も大流行しました。中井さんが廃材を持ってきてくださり木工がスタートしました。実際釘の始末やのこぎりを使うことに指導員間でも話し合いましたが、木には、打ち付けばなしの釘が上を向いていたり、いつもの調子で裸足でウロウロする子がいたりとハラハラドキドキでした。かなづちで指を少し打ったりのこぎりで擦り剥いたり、ありましたが大きな怪我もなく活動できました。長さを測らなければ(測ってもまっすぐ切らなければ)釘が効かないことや、釘を抜くためには、どこを固定すればいいのか子ども達は、いろんなことを考えながらギコギコトントン がんばっていました。木に、はしごをかけようとした子を見ていつかはツリーハウスの夢を子ども達と話しました。できたものを持って帰るといった子が多かったのも自分が作った大切な作品だったからでしょうね。



『ひまあ～！やることない！』の高学年の言葉。それでもずっと継続でやって来ている子ども達です。『何をしたいん？』と聞くといろいろ案が出てきました。中には、実現不可能なこともたくさんありました。今までの先輩がしてくれたことは、楽しいかったからか、やっぱり準備し始めます。

この夏は、カキ氷をした男子集団。反省をし、次こうするとメモを作りました。下学年の並ばせ方や準備を万全にし、2回目のカキ氷屋さんをしました。大成功でした。

おやつもはじめの予定の指導員主導の手作りおやつが子ども達から『おやつの準備してもいい？』と声をかけてくれるようになりました。ある日は、購入していたジャンボコーンをカップの底に入れアイスをのせ有り合わせの材料でチョコレートパフェを作ってくれました。

低学年がすし屋さんごっこをしていると、4年生が『回ると楽しいよね。おやつを回してもいいよね。』と昨年のペットボトルそうめん流しに匹敵する回転寿司仕掛けを作り始めました。残念ながら製作途中のまま夏は終わりましたが、きっとそのうち形になると楽しみにしています。

また高学年は、『かいかのきオリンピック・きもだめし・おやつ作り』自分たちのやりたいことだから考え、相談し、もめながら形にしていけたのだと思いました。考えて生活を創る！！まさにかいかのきです。このほか、子どもがどこかで習ってきたペットボトルの空気砲。3・4年生のお店さん。お店屋さんの看板は、木で作っていたのも印象的でした。

夏を通して飼っていたヤモリ君。休みの日にはちゃんと誰かがつれて帰っていました。夏が終わりどこかのおうちの子になっているのでしょうか。

指導員が活動を作るのではなく子どもたちのやりたい！！をかたちにできるように、今後とも応援・支援していきたいと思います。もちろん一緒に楽しみたいと思っています。

また

廃材・すいか・やさいなどなどたくさんのご協力ありがとうございました。

*すいかの種飛ばしも楽しめました。

(文責：高橋)